

真に「選ばれるまち」藤枝を目指して

ふじえだ 藤枝市長(静岡県) きたむらしょうへい 北村正平
Shohei Kitamura



私の故郷「藤枝」

「藤枝」と言えば何を思い浮かべていただきますか。藤枝といたら「サッカーのまち」、日本代表キャプテンを務めている長谷部誠選手は藤枝の出身です。そして、東海道五十三次宿場町として栄えてきたまちです。また、藤枝市を一言で表すと「ほどよく都会、ほどよく田舎」です。

本市は静岡県の中部、県庁所在地(静岡市)の西側に隣接する人口約14万7000人の自治体で、日本の主要路線(東名高速、新東名高速、東海道新幹線、国道1号)が通過し、交通の要衝として発展しています。富士山静岡空港が至近距離に開港しており、昨今は新東名高速の藤枝岡部ICや東名高速の大井川焼津藤枝スマートICなど



剣士七段市長との対談(右から2人目が筆者)

も完成するなど、インフラ整備が着々と進み、まさに、本市を取り巻く環境は大きく変わってきているといえます。私はこのまちで生まれ、育ちました。幼いころから剣道の稽古に励み、現在は、剣道教士7段の経験を生かしながら、市剣道連盟会長として普及発展に努めています。「サッカーのまち」ということもあり、子どもたちは友達と一緒にボールを追いかけ遊ぶことも多々ありました。本市市民は、サッカーを「文化」として、また、地域の誇りとして、情熱を注ぎ文武両道で取り組むものとして考えており、剣道とも共通した面を有しています。私自身も、剣道の稽古を続ける傍ら、毎年、市議会の方々とサッカーの交流試合を行うなど、心身の鍛錬やリフレッシュに役立てています。



幹部職員とのサッカー大会(前列、左から3人目が筆者)

私は、静岡県庁に勤務し、その後、藤枝市政を担う立場となりましたが、県庁時代の公務員としてのさまざまな経験と、剣道を通じて培った何事にも真剣に向き合い、コツコツと積み上げてきた精神力で、今、私を育ててくれた郷土の発展のために力を尽くしているところです。

「人財育成」は大きな柱

さて、地方創生の時代に入り、本市は内外の多くの人々から真に「選ばれるまち」を目指していますが、現在本市では、継続的に人口が増加し、民間投資も進んで活力に満ち、大変良い循環が生まれています。こうした背景には、市民生活に直結する

「4つのK(健康・教育・環境・危機管理)」の施策、中心市街地の魅力の向上など、市民と行政が連携し、情熱を持って市政経営を進めてきた成果があると実感しています。こうした勢いを止めることなく、本市が真に「選ばれるまち」として前進できるように、現在、さまざまな施策を展開していますが、中でも、私が力を入れているのは「人財育成」です。

私は、まちに活力をもたらす、地域経済を活性化してくれる「人こそが「宝」である」と考えています。人の力をいかに引き出し、励まして伸ばし、まち全体に活気を広げるかが市政を担うものの大切な責務であると思っています。



ソフトバンク株式会社本社にて記者発表

「Pepper 社会貢献プログラム」では、平成32年度から小学校の授業でプログラミング学習が必修化されることに先駆け、プログラミングを通して、論理的な思考や問題解決力を養う取り組みを、国の動きを先取りして進めています。具体的には、民間企業の協力を得て、中学校1校で、人型ロボット「ペッパー」を題材にしたプログラミング授業を実施したところであり、授業では、私たちが予想も

ほんの一端ですが、将来を見据えた今、本市が独自に進めている「人財育成」の取り組みを紹介いたします。

それは、本市独自の「科学・ICT(情報通信技術)教育・ロボット教育」です。国も今、「理系人材の育成」に向け、力を入れています。本市では、かなり前から先駆的に取り組んでいます。

「科学分野」では、宇宙航空研究開発機構、いわゆるJAXA(ジャクサ)と連携し、宇宙飛行士を招いた宇宙科学講座や、「わくわく宇宙教室」と銘打った、科学実験を通して科学を身近に体験できる講座を開設しています。

しない若者ならではのプログラムも行われ、子どもたちの多様な能力開発に大変効果があると認識したところです。

来年度からは、市内小中学校27校すべてにこの「ペッパー」(161体)を配置し、一斉にこのプログラミング教育をスタートしてまいります。

さらに、これを契機に、教育現場のICT化を進め、ICT社会の中で即戦力で活躍できる人材を育てていきたいと考えています。

併せて、民間企業との共同実証実験として、国内初となる市内全域への「IoT通信網」の構築を現在進めています。

このことで、地域産業のICT化を進め、生産性や競争力の向上と新たな領域へのチャレンジを後押しするとともに、育成した人材が地域で活躍できる環境づくりを進めていきたいと考えています。

また、公共サービスの充実面でも、子どもの見守りサービスの実証実験を実施するなど、本市から安全安心な社会づくりに寄与していきます。

一以貫之

私が好きな言葉に、一以貫之(一を以つて之を貫く)という言葉があります。これは、一つのもの(仁)で万事を貫くという意味で、孔子が仁をもってあらゆる事柄に対処していこうという信念を述べた言葉と言われています。



JAXAとの連携イベント

います。自分の中に一つのぶれない軸を持つていて、それを貫くことが大切です。しかしこの教えは、単に頑固に我を通し、一本道を行けと言っているものではありません。柔軟な心と謙虚な態度、いわゆる「おもいやり」があつてこそ、一つのことが貫けるといふことです。このことは、頭では理解できても、実行はなかなか難しいものがあります。

私が市長として万事を貫いていかなければならないものは、やはり、「将来に夢と希望が持てるまち」を創るという志です。これからもこの教えを念頭に、常に将来のまちの姿を見据え、本市が一步も二歩も前に進み、真に「選ばれるまち」として前進していけるよう、渾身の努力を続けていきたいと思つています。